



# 学校だより

令和元年8月27日  
横浜市立豊田小学校  
8・9月号

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

## 『思いやりの心』広がれ

学校長

いよいよ長かった夏休みが終わり、楽しい思い出は、きっと、子どもたちのこれからの一生を支える大きな心の糧の一つになっていくことでしょう。

さて、楽しみな夏休みに入る直前の朝会（7月19日）では、校長原作による創作紙芝居『思いやりの山』をPTA本部役員6名の方々との協働で「読み聞かせ」を行いました。



当日は、子どもたちが真剣に聴き入り、ラジオ局FM戸塚も取材に訪れ、後日その様子がラジオで紹介されて、大きな反響を呼びました。紙芝居は、誰の心の中にも「勇気の心」「思いやりの心」があることを気づかせるストーリーでした。

心の糧と言え、有名な書家で詩人でもある相田みつを氏の言葉が浮かんできます。相田氏は、かつて小学校でPTA会長を務めていたことがあり、その会長時代のノートに、次のような言葉を残していたということです。

＜子どもは、未来を生きるもの＞

1. 私達は、未来を予測できない。
2. 子どもは、そのまま未来の社会を生きるものである。
3. その時、親の手は届かない。

だから、子どもは、どんな状況になっても、たくましく生きられるように育てておくことが親の大事な務めなのだ、と、相田氏は子どもをもつ父親の思いを誠実に綴りました。

子どもが転んだり、つまずきそうになったりした時に、思わず手を差し伸べたいのが親心かもしれませんが、子どもが生涯にわたり、力強く生き抜くための力をつけてあげることが、私たち大人側の大きな責任のように思います。

これからも皆様方のご理解とご協力、そして、引き続き力強いご支援を頂きながら、職員一同、力を合わせて、子どもたちの心の中に、「豊かな心」「生き抜く力」を育んでいければと思います。